

駒木会報

第15号

発行日：平成27年9月20日
発行：江戸川大学駒木会
所 在：千葉県流山市駒木474
電 話：04-7152-0661



ホームカミング・デー スポーツシンポジウム開催



監督を務める鈴木秀生准教授。



子ども達にサッカーボールがプレゼントされました。



運営に携わった学生とも記念撮影。



駒木会へ贈られた記念サッカーボールは交流パーティーの景品になりました。

前園真聖氏を招いてのイベントを開催

平成26年11月3日、江戸川大学にて「スポーツシンポジウム～2014年FIFAワールドカップを終えて、日本の育成を考える～」を開催しました。

この催しは、江戸川大学フットボールクラブと駒木会がコラボレーションし、元全日本代表選手の前園真聖氏をお招きして、学生や地域の子ども達約250名が参加しました。

フットボールクラブと前園氏は、以前より江戸川大学Jr.サッカーアカデミーが、前園氏の主催するZONOサッカースクールと連携して開催されているという親しい関係にあります。

す。このアカデミーでは小学生を対象としたクラスを開講し、地元地域の子ども達の健全な心身の育成、サッカーの普及・発展に貢献しています。

今回のシンポジウムでは、第1部で「前園真聖氏とフットボールクラブの鈴木秀生准教授(社会学部経営社会学科)とのトーク」が行われました。

トークでは、ブラジル大会の映像を見ながらの「世界と日本の差」の分析、押さえつけない、そして決めつけないという「発育発達における指導」のあり方、サッカーだけではなく

くスポーツの世界全般で起きて大きな問題になっている「暴力根絶」についてお話をありました。トーク終了後には質問タイムがあり、「自主練習」や「食事の栄養管理」など学生や地域の方々からの質問に答えられていきました。

続いて、第2部では「前園氏サイン会」が行われ、サイン入りサッカーボールをみごと当てた参加者の方々には前園氏から直接プレゼントされました。サイン会終了後には、前園氏との記念撮影会もあり、大いに盛り上がって楽しい一日を終えました。

